

# 公益財団法人 日本骨髄バンク 臨時理事会 議事録

1 日 時 2025年(令和7年)1月17日(金) 17時10分から17時30分

2 開催方法 WEB会議(本会議をWEB開催することに関して全理事の同意を得た)

3 定足数 理事現在数11名中、出席8名

(1)出席理事：8名(以下、敬称略)

岡本 真一郎(理事長)、佐藤 敏信(副理事長)、日野 雅之(副理事長)、  
浅野 史郎(業務執行理事)、大西 達人(理事)、鈴木 利治(理事)、  
橋本 明子(理事)、福田 隆浩(理事)

注)定款第46条に規定する理事現在数の過半数を充足し、本理事会は成立した。

(2)欠席理事：3名

石丸 文彦(理事)、瀬戸 愛花(理事)、高橋 聡(理事)、

(3)出席監事：2名

杓沢 一晃(監事)、藤井 美千子(監事)

(4)陪席者：3名

細川 亜希子(厚生労働省健康・生活衛生局難病対策課移植医療対策推進室室長補佐)

横田 友子(厚生労働省健康・生活衛生局難病対策課移植医療対策推進室係長)

東 史啓(日本赤十字社血液事業本部技術部造血幹細胞事業管理課課長)

(5)事務局：6名

小川 みどり(事務局長兼ドナーコーディネート部長兼医療情報部長)

田中 正太郎(総務部長)、関 由夏(移植調整部長)、戸田 泉(広報渉外部長)、

荒井 茂(総務部TL)、水口 詞代(広報渉外部)

## 4 開 会

岡本理事長が臨時理事会の開会を宣言した。理事会運営規則第3条に基づき、事務局の出席が認められた。

## 5 議事録署名人の選出

定款第51条第2項により出席した理事長及び監事が議事録の署名にあたとされた。

## [ 議 事 ]

### 6 審議事項

第1号議案：事務局の管理職人事について

第2号議案：地区事務局の統合について

第3号議案：語りべ事業実施内容について

## 7 報告事項

- (1) 寄付金報告
- (2) 採取件数・患者登録数報告
- (3) 調整医師新規申請の報告

## 8 審議事項の経過概要と結果(敬称略)

### (1) 第1号議案：事務局の管理職人事について … 小川事務局長

戸田広報渉外部長の退職に伴い、広報渉外部広報チーム水口詞代主幹を、1月20日付をもって広報渉外部長に昇格する。

審議の結果、第1号議案は全会一致で可決承認された。

### (2) 第2号議案：地区事務局の統合について … 小川事務局長

既に業務執行会議において、概ねの方針について承認は得ているが、スケジュール案等を含め審議をお願いしたい。

現在の7地区事務局を東京と大阪の2拠点に統合し、バンク事業全体の向上に繋げたいと考えている。北海道、東北、中部地区のうち静岡県を東京へ、静岡県以外の中部と中四国、九州地区を大阪へ統合する。リモートが普及し、物理的に多くの拠点を持つことの必要性が減少している。統合後、地区事務局内に各県専属の職員を配置するので、基本的には現在と変わらず医師等との連携を大切に進めていく。

閉鎖する地区事務局の職員12名に対しては、丁寧に説明を続けていく。なお、コーディネーターについては、これまでどおり地元で活動していただく。閉鎖する地区事務局の職員は、統合先事務局への転勤をお願いしている。転勤が困難で退職せざるを得ない場合は、閉鎖時まで出勤した職員に対し退職金の割り増しをする。コーディネーターになることも可能。必要に応じて再就職支援プログラムを提供する。

スケジュールについて承認いただければ、2月までの間、さまざまな機会をとらえアナウンスをしていく。3月1日の造血・免疫細胞療法学会フォーラムにおいても理事長から説明予定。

具体的な移転時期については、まず他地区受け入れのため近畿地区事務局を2025年夏に移転。8月に中四国地区が大阪へ移転。2月上旬に東北地区が東京に移転。3月上旬に中部地区が大阪と東京、九州地区が大阪に移転する。

(主な意見)

<岡本> 全体の流れとしてITを活用し、迅速にコーディネーションを進めていく方向に動いていると思う。

審議の結果、第2号議案は全会一致で可決承認された。

### (3) 第3号議案：語りべ事業実施内容について … 広報渉外部 水口

語りべ事業は重要な普及啓発活動の一つ。骨髓バンク主催もあるが、各地方のボランティアや各主催者による語りべ講演会開催が圧倒的に多く、依頼を受けて骨髓バンクが講師の派遣調

整・活動費の負担等を続けてきた。計画書・報告書を提出するといった大枠のルールはあったが、語りべ講演会の定義の詳細については明文化されたものがなかったのが実情。加えて、語りべがどのような講演をしているかの把握や、どのような語りべ講演の在り方が望ましいかを我々が発信することの必要性等を踏まえ、このほど新たに内規を制定したい。

内容としては、現在の語りべ事業を明文化したような内容。原則として一定程度の規模・時間を求め、体験者の生の声を聞いてもらい骨髄バンク事業への理解を深めてもらうことを対象とする。その他、費用弁償等についても明文化し、安全面へ配慮したルールを定めることで、関係者に明確に発信することも可能となる。

施行日に関しては、発信スケジュール等を整え、別途報告とする。

(主な意見)

<岡本> これまでの語りべ事業で、問題になるような懸念等があったのか。

<水口> 事故のようなものは聞いていないが、例えば結果的に聴衆が少なかつただとか、5分のみの講演等で請求が届いた例はある。もちろん皆さん志を持って講演を企画・実施していただいているが、それに対して何かを言う根拠もなかったための制定でもある。

<橋本> これはWebでの講演会でもいいのか。それなりの聴衆がおり、成立していれば。

<水口> Web自体を禁じているものではない。これまでもWebの講演者に対し活動費を支払っていた。

<岡本> JMDPのアクティビティに貢献する活動ではあるけれども、形を整えた方が、今後お互いにメリットがあるのではないかと、ということでこの規約を制定したと理解した。

審議の結果、第3号議案は全会一致で可決承認された。

## 9 報告事項の経過概要と結果(敬称略)

### (1) 寄付金報告 … 戸田広報渉外部長

12月については、1,985件6,806万円と、件数はほぼ例年どおりだが、遺贈もあり、金額的には過去5年間で最も大きな金額となっている。

### (2) 採取件数患者登録数報告 … 田中総務部長

2024年12月の採取件数は国内BM36件、PB21件、国際0件、合計57件。ここ数ヶ月は昨年度と同程度で推移していたが、例年の12月より減少。ただし1月の予定数が、例年より多い件数となっているので、タイミングの問題か。患者登録者数は149件と昨年度を上回るペースで推移。

### (3) 調整医師新規申請の報告 … 関移植調整部長

新規登録の調整医師が5名、異動・辞退21名、合計で1,219名。